

## 2 共通教育・連携教育

### 1) 教育活動

授業科目・ 担当教員	授業形態・ 時数	年次	科目のねらい・到達目標
スタートアップ演習 ◎原 俊彦 酒井 正幸 杉 哲夫 中原 宏 矢部 和夫 エルサニマロアン 町田 佳世子 斉藤 雅也 福田 大年 松井 美穂 三谷 篤史 樋之津 淳子 清水 光子 須田 恭子 吉川 由希子 星 美和子 渡邊 由加利 神島 滋子 進藤 ゆかり 塚辺 蘭子 照井 レナ 三上 智子	演習 60時間	1年次 前期	<p>【科目のねらい】「デザインと看護の連携」をテーマに、大講義室での合同講義や小人数編成によるグループ活動を通じ、文献講読、図書館の活用、レポート・論文作成、グループ討論など、主体的に勉学・研究を進めるための基礎的学習法、課題解決の手法などを習得するとともに、調査・分析プロジェクトを通じ、4年間の学生生活や将来の職業生活への展望を持ってもらうためのコア科目。</p> <p>【到達目標】 主体的に勉学・研究に取り組む姿勢/他者とのコミュニケーション能力/基本的な学習技術の習得/学生生活や将来への展望を持たせる。</p>
哲学と倫理 ★山田 友幸	講義 30時間	1年次 前期	<p>【科目のねらい】心と身体はどのような関係にあるのかという問題をめぐって、近世から現代に至るさまざまな哲学者の考えを再構成的にたどり、世界の中における心の位置について理解を深める。</p> <p>【到達目標】心について考えるための基本概念である二元論、一元論、因果作用、心脳同一説、決定論的法則、随伴現象、非還元的物理主義、非法則的一元論、付随性、機能主義等の概念の理解。</p>
体のしくみ ★杉原 俊一	講義 30時間	1年次 前期	<p>【科目のねらい】体のしくみについて運動・動作を中心に学習し、ヒトの正常状態について学ぶ。具体的には、正常な身体運動を運動学的分析の視点から考察する。また、講義・実習等を通じて筋や関節が運動・動作にどのように関わっているかについて、生体の構造と機能との関連から理解を深める。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 生体の構造と機能を運動学的観点から理解する。</li> <li>2 身体運動を理解するための運動学的分析方法を説明できる。</li> <li>3 動作分析方法について説明できる。</li> <li>4 歩行、姿勢に関して運動学的な見方を説明できる。</li> <li>5 体表解剖の基礎を理解する。</li> </ol>

概要

教育活動

研究活動

社会活動

入学  
者選  
抜結  
果附  
属  
図  
書  
館役  
員  
会  
及  
び  
教  
育  
研  
究  
審  
議  
会  
経  
営  
審  
議  
会学  
内  
運  
営  
の  
概  
要資  
料

授業科目・ 担当教員	授業形態・ 時数	年次	科目のねらい・到達目標
人間関係を考える ★椿 武愛子	講義 30時間	1年次 前期	【科目のねらい】挨拶から始まる対人関係と常識的なコミュニケーションが望まれているにもかかわらず、なかなかうまく表現できない人が多いといわれている。同じ職場に長く勤務できないのは、仕事がいやだからではなく、人間関係のトラブルからが多い。我々の日常生活は、家庭、学校、職場などを中心として営まれている。そのいずれにも、必ず他者とかかわらなければならない。そのためにまず、相手を知り、相手を認めることがいかに大切かを知り、コミュニケーションを上手にとるため、そして楽しい生き方をするための人間関係をつくることを目的とする。 【到達目標】人間関係がスムーズになりテキパキと仕事が出来、輝いて見え、自分に自信が持てる人間になる事を目標にする。
札幌を学ぶ 原 俊彦	講義 30時間	1年次 前期	【科目のねらい】さまざまな分野で活躍している方をゲストスピーカーとして招き、札幌の地域特性や、道都としての札幌と北海道各地の関係について、話を聞きともに考える。科目担当の専任教員は、ゲストスピーカーの紹介、学生への情報提供と評価を担当する。 【到達目標】地域社会に対する興味・関心／人の話を注意深く聞き理解する能力／適切なコメント・質問をする能力などを身につける。
英語 I A ★大野 拓恵 ★清水 香 ★水島 梨紗	演習 30時間	1年次 前期	【科目のねらい】高校までに習得した英語の基礎的な読解力をさらに発展させることを目標とする。ここでは様々なトピックに関する比較的平易な英文を読みながら、英文読解力、語彙力の向上を目指す。進捗によっては、英文の新聞・雑誌記事などを副教材とし英語力の更なるレベルアップをはかる。 【到達目標】比較的平易なレベルの英文を、的確に文の内容、論理展開を把握しながら、一定のスピードで読める力を習得する。
英語 I B 町田 佳世子 松井 美穂 ★白土 淳子 ★向井 千和子	演習 30時間	1年次 前期	【科目のねらい】高校までに習得した文法を再確認するとともに、英文の構造を理解しながら、英語でコミュニケーションをするために必要な作文力を身に付ける。また、ある程度まとまった内容を英語で表現するために必要なパラグラフ・ライティングの書き方を、ブレインストーミングなどの基礎から学び、論理的かつ明晰な英文を書くために必要な英文の構成の仕方を学ぶ。 【到達目標】前期ではセンテンス・レベルからの作文の練習から始め、パラグラフ程度の長さのまとまりのある内容を英語で表現できるレベルの力を習得する。
英語 I C ★マッドヴァ セザインジ ★山田 パトリシア	演習 30時間	1年次 前期	【科目のねらい】英語による口頭でのコミュニケーション能力の基礎習得を目標とする。伝えたいことを正確に英語で表現する力を身に付けるとともに、英語で自分の意見を発信する能力を養う。CD等の教材を使用し、リスニング力の向上に努めながら、日常の英会話に必要な表現力についても学ぶ一方、英語でのプレゼンテーション能力を身に付けることを主たる目的とする。 【到達目標】ある程度まとまった内容を口頭で表現できる、英語でのプレゼンテーション能力の基礎力を身に付ける。
日本語表現法 ★千葉 孝一	演習 30時間	1年次 前期	【科目のねらい】言葉に関する学術用語を学び、多角的に考える為の基礎知識を培う。その上で、適切な日本語表現とは何かについて正しく理解するとともに、自分の考えを相手に明快かつ分かりやすく伝える文章表現力を身に付ける。 【到達目標】言葉をめぐる様々な学術用語（シニフィエ・コノテーション等）を適切に使用できる事／学術的な文章と一般的な文章の違いを理解し、前者の約束事に沿った文章を執筆できる事。
基礎カウンセリング ★小坂 守孝	演習 30時間	1年次 前期	【科目のねらい】カウンセリングは、適応上の課題を有する個人が、専門家の援助を受け課題解決を図る過程である。ここではロールプレイ等を通じ、カウンセリングの基礎を学ぶ。併せて、カウンセリングが必要となる心理的な状況や症状、また、カウンセラーの役割について理解を深める。 【到達目標】カウンセリングとは何をする事なのかを理解すること。カウンセリングの実際について体験を通して理解すること。

授業科目・ 担当教員	授業形態・ 時数	年次	科目のねらい・到達目標
情報リテラシーⅠ ◎大 瀨 一 博 柿山 浩一郎	演習 30時間	1年次 前期	<p>【科目のねらい】これから大学で勉強をしてゆく上でも、また社会に出て働く上でもパーソナルコンピュータを日常のコミュニケーション・ツールとして自由自在に使いこなすことが求められます。このため情報リテラシーⅠではコンピュータのしくみや操作方法、データの保存方法などについて学ぶとともに日常業務に不可欠なワープロ・表計算・プレゼンテーションなどのアプリケーション操作の基礎や自在に使いこなすための工夫・テクニックについて学びます。</p> <p>【到達目標】ワープロ・表計算・プレゼンテーションなど基本的なソフトウェアの操作を理解し、ツールとして自由に活用できることを目標とします。</p>
情報リテラシーⅡ ◎大 瀨 一 博 柿山 浩一郎	演習 30時間	1年次 前期・ 後期	<p>【科目のねらい】これから大学で勉強をしてゆく上でも、また社会に出て働く上でもパーソナルコンピュータを日常のコミュニケーション・ツールとして自由自在に使いこなすことが求められます。このため情報リテラシーⅡでは、インターネットを通じ、さまざまなデータベースから情報を的確に収集・検索する方法を学ぶとともに、情報の加工やホームページの作成などを通じ、自ら情報発信する技術を身に付けます。またセキュリティの問題や個人情報の扱い方などについても学びます。</p> <p>【到達目標】情報倫理を遵守しながらインターネットを情報収集、情報発信のツールとして活用すること、ならびに関連する技術について理解することを目標とします。</p>
宗教と思想 ★堀 雅彦	講義 30時間	1年次 後期	<p>【科目のねらい】宗教と思想はそれぞれ、「信じること」と「考えること」として、互いに異質な営みであるように見えます。実際、「宗教を信じるのは自分の頭で考えることの放棄だ!」と言う人もいますでしょう。しかし、そういう声に賛成の手を挙げる前に、様々な宗教的伝統のただ中で生まれ、継承されてきたものの見方に、目を向けてみませんか。そこには人間や社会、自然などをめぐる広い意味での「思想」があり、私たち自身のものの見方に反省を迫るような要素が少なからずあるはずです。この講義では、そのような「宗教の中の思想」の輪郭を捉えるためのヒントを、様々な角度から示したいと思います。</p> <p>【到達目標】宗教に対する一般的な誤解、偏見がほどこける／セム的一神教(ユダヤ教、キリスト教、イスラーム)や仏教など、国際社会に大きな影響を与える諸宗教の歴史と思想の基本がわかる／自分と宗教(宗教的なもの)との関係を繰り返し問い直す態度が形成される。</p>
芸術と文化 ★望月 由美子	講義 30時間	1年次 後期	<p>【科目のねらい】人類の歴史のなかで創り出されてきた美術作品が、ある時代、社会のなかで如何なる意味を有し、如何なる役割を担っていたのかについて考える。美術史の専門知識や解釈の方法論を学ぶことによって、今日われわれを取り巻いているCMや、雑誌、ポスター、TVドラマ、映画をはじめとする多くのイメージが、日常生活のなかで人間の行動や心理面に如何なる作用を及ぼしているのかについて学際学的な視野から考える力を養う。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 19世紀から20世紀にかけての美術史の方法論(デスクリプション、イコノグラフィ、イコノロジー)の基礎論を学び、実際に絵画・彫刻分析を行って図像の意味を読み取る力を養う。</li> <li>2 美術史・文化史の専門用語に関する基礎知識を養う。</li> <li>3 最終的に、「芸術」と括られるものが、単なる美術館における鑑賞物といったものではなく、人類の歴史をさまざまな角度から再考するための最も重要な歴史史料のひとつであることを作品創造者となる学生各自が経験的に学ぶことが目標となる。</li> </ol>

概要

教育活動

研究活動

社会活動

入学  
者選抜  
結果附属  
図書館役員  
会  
及  
び  
教  
育  
研  
究  
審  
議  
会学  
内  
運  
営  
の  
概  
要

資料

授業科目・ 担当教員	授業形態・ 時数	年次	科目のねらい・到達目標
心のしくみ ★橋本 道子	講義 30時間	1年次 後期	<p>【科目のねらい】日常生活に見られる人間の行動を理解するに当たって、それらの行動をコントロールしている様々なシステムや現象について、心理学的に考える。また、人間の心を科学的に研究した知見と現代心理学の各分野を概観し、人間の心と行動についての基礎を学ぶ。</p> <p>【到達目標】様々な領域の心理学的研究について概観し、心理学全般についての知識を得る。</p>
現代社会と家族 原 俊彦	講義 30時間	1年次 後期	<p>【科目のねらい】日常当たり前の存在のように考えられがちな家族は、その時代により、社会により、また個人によって、その意味や位置付けが異なる。現代においては、社会構造の複雑化、グローバル化等が進んでおり、家族のありようや個人と家族のかかわりも大きく変化している。ここでは、現代の社会的な問題と、家族・地域社会の関係について学び、日本の家族が抱える課題について考察する。</p> <p>【到達目標】家族に対する関心を養う／家族の変化を統計的に捉える方法を学ぶ／家族と地域社会の関係や日本の家族が抱える課題を理解する。</p>
現代社会と経済 ★近藤 公彦	講義 30時間	1年次 後期	<p>【科目のねらい】現代社会のさまざまな経済活動を理解するために、経済学や経営学の基本的な知識を習得する。また、身近な経済トピックスなどを通じて、経済のグローバル化、情報化の現状を概観する。我々は普段、消費者としてモノやサービスを買って、利用している。コンビニでお弁当を買って、ファッション専門店ですて服を買って、シネマコンプレックスで映画を鑑賞し、携帯電話を使っている。一方、売り手である企業は、そうした製品やサービスを消費者に提供することで利益を上げる。その過程で企業は、消費者の好みを探り、彼らを満足させられる製品・サービスの開発に努め、ライバル製品との競争にどのように勝つかを常に考えている。この講義では、社会の経済主体の中心である企業のマーケティング活動に焦点を当て、その理解を通じて現代の社会や経済を見る眼を養う。具体的には、企業戦略の基本的な考え方をマーケティングの視点から提供し、具体的な事例を多く交えながら説明するとともに、適宜、テーマに則したビデオを見たり、雑誌記事を読み、ディスカッションやレポートを通じてマーケティングの理解を深める。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 マーケティングを通して企業活動を理解し、社会、経済を見る知識を習得する。</li> <li>2 ディスカッションやプレゼンテーションの能力を養う。</li> </ol>
統計の世界 原 俊彦	講義 30時間	1年次 後期	<p>【科目のねらい】さまざまなデータの分析を行うための基礎となる統計学的な考え方や基本的な手法を理解・習得することを目標とする。このため、表計算ソフトを用いてデータを加工し、必要な情報を採り出すための簡単な統計処理方法を学ぶ。また、データに基づいて物事を考える力を養う。</p> <p>【到達目標】統計学的な考え方や基本的な手法に対する理解／表計算ソフトを用いたデータの加工能力／統計を用いた推計・検定の処理の基礎を身につける。</p>
英語ⅡA 町田 佳世子 ★大野 拓恵 ★清水 香 ★水島 梨紗	演習 30時間	1年次 後期	<p>【科目のねらい】「英語ⅠA」で培った読解力をさらにレベルアップし、アカデミック・スタディに必要な英文読解力の充実を目指す。さまざまな英文について、正確かつ的確に内容を理解する訓練を行うとともに、平易な長文の大意を短時間で把握する速読、パラグラフ・リーディングの練習も行う。また、併せて辞書を使用せずに一定レベルの英文を読み取れる語彙力を養成する。</p> <p>【到達目標】複雑な構文、難易度の高い語彙を含む英文を、的確に理解できる読解力を習得する。速読、パラグラフ・リーディングなど多様な読みのスキルを身につける。</p>
英語ⅡB 松井 美穂 ★白土 淳子 ★向井 千和子	演習 30時間	1年次 後期	<p>【科目のねらい】「英語ⅠB」で培った作文力をもとに、英語で自分の考えや意見を論理的に表現できる力をさらに伸ばし、研究レポート等を英語で表現できる力を身に付ける。具体的には前期で習得したパラグラフ・ライティングの書き方をエッセイ・ライティングへと発展させることに主眼を置く。</p> <p>【到達目標】エッセイ・ライティングレベルの長文を論理的に書く技術を身に付ける。</p>

授業科目・担当教員	授業形態・時数	年次	科目のねらい・到達目標
英語ⅡC ★マッドヴァ セザインジ ★山田 パトリシア	演習 30時間	1年次 後期	【科目のねらい】「英語ⅠC」で培ったスピーキング力、プレゼンテーション能力をさらに向上させ、一定レベルの内容を英語で発信する力を養う。同時に、ある程度複雑な内容のネイティブの会話や説明などを正確に理解できるように、CD等の教材を活用し、更なるリスニング力の向上を目指す。 【到達目標】 英語で自らの考えや意見を論理的に発信できる力を身につけるとともに、論理的な内容の英語を聞いて理解できる力を身につける。
プレゼンテーション ◎武田 亘明 柿山 浩一郎	演習 30時間	1年次 後期	【科目のねらい】 今日の世界では、文書・画像・音声などさまざまな表現手段を組み合わせて、情報を効果的に伝達することが重要になっている。ここでは、情報を伝達する相手や目的に合った情報の収集や編集方法を学ぶとともに、プレゼンテーション用のソフトを活用し、多様な表現手段と説得力あるプレゼンテーション技術を習得する。 【到達目標】 プレゼンテーションの業界標準といえるソフトウェア、Microsoft PowerPointを使いこなせるようになることを、スキルのな目標とする。また、プレゼンテーションは一方的なものではなく、行う側と受ける側といった2者間の関係であるとの視点から、オフィシャルな場におけるコミュニケーション能力の向上を総合的な目標とする。
対人コミュニケーション 町田 佳世子	演習 30時間	1年次 後期	【科目のねらい】 私たちはコミュニケーションなしに社会生活を送ることはできない。コミュニケーションの仕組みを知ることは、よりよいコミュニケーションの担い手への第一歩である。この授業では、心理学、社会学、言語学、社会心理学などの研究成果を基に、コミュニケーションという現象にアプローチする。 【到達目標】 コミュニケーションという営みについて基本的な理論を学び、身近なコミュニケーション行動をその知識を基に観察または内省する。その結果を自らのコミュニケーションに適用し、より豊かなコミュニケーションを目指す。
手話 ★高橋 浄	演習 30時間	1年次 後期	【科目のねらい】 このクラスでは、実技指導などを通し、日本人ろう者のコミュニケーション手段の1つである「日本手話」の基礎を学びます。また、ろう者およびろうをめぐるとの問題についても考えてみたいと思います。 【到達目標】 ろう者に対する理解を深めると共に手話による簡単な会話を習得する。日常会話を行う。必要な手話表現技術を習得する。
ジェンダーを考える ★川畑 智子	講義 30時間	2年次 前期	【科目のねらい】 人権問題やジェンダーの基本的な考え方について、基礎的な知識を習得する。また、ジェンダーを生み出す社会的な構造や、最近のジェンダーの課題について、事例を通して考察する。現代の日本社会の問題から具体的なテーマをとりあげ、現代日本社会における男女の性別秩序をとらえる。こうしたテーマについて深く考えてみたい人、こうしたテーマに関心のある人などの受講をお勧めします。 【到達目標】 この授業の目的は、ジェンダーという分析概念を使用して社会を読み解く力をつけ、どのように社会と向き合い、生活していくべきかについて考えることである。すなわち社会生活を営むための知恵を身につけ、より生きやすい社会を創造するためには何が必要かを考えることである。
健康とスポーツ ★林 恒宏	講義 30時間	2年次 前期	【科目のねらい】 多くの日本人の生活は、栄養過多の一方、運動が不足しており、ストレスの解消や発散も十分になされない状態にある。また、こうしたことが、体力の低下やさまざまな健康障害を引き起こす原因となっており、スポーツの必要性がますます増加している。ここではスポーツによる健康維持と体力づくりのための知識の習得を目的とする。 【到達目標】 1 日本人の健康問題の現状と国、地方自治体、民間の対応策を理解する。 2 どのような運動療法、スポーツが効果的か、基本的知識を実技を通して理解する。

概要

教育活動

研究活動

社会活動

入学  
者選  
抜結  
果附  
属  
図  
書  
館役員  
会  
及  
び  
教  
育  
研  
究  
審  
議  
会学  
内  
運  
営  
の  
概  
要資  
料

授業科目・担当教員	授業形態・時数	年次	科目のねらい・到達目標
現代社会と国際関係 ◎★佐々木 政文 ★近藤 浩 ★田中 祥彦 ★松岡 亮	講義 30時間	2年次 前期	【科目のねらい】 私たちは今、海外のニュースが瞬時に伝わってくる時代に生きています。毎日のように飛び込んでくるニュースも「なぜ？」を考えなければ、関心を持ち得ないし真相も見えません。この授業では、北海道新聞の記者が新聞などのニュースを基に、分かりやすく楽しく時代のトレンドに沿って伝えます。 【到達目標】 海外事情の基礎を理解し、自らの考えを論理的に説明できるようにする。
ボランティア活動を考える ★小沼 春日	講義 30時間	2年次 前期	【科目のねらい】 ボランティア活動の起源、活動を支える思想、活動の今日的状況と課題について学ぶ。また、現代社会では「地域におけるボランティア活動」が非常に注目されていることから、地域のボランティア活動の事例も参考にしながら、身近なボランティア活動についても考える。 【到達目標】 本科目の受講をとおして、「ボランティア活動」を多角的に捉え、関連する諸領域・分野との関係性に関する洞察力、及び「主体的に行動する力」の涵養を目指す。
実践英語A 町田 佳世子 松井 美穂	演習 30時間	2年次 前期・ 後期	【科目のねらい】 英語Ⅰ、英語Ⅱ（各A、B、C）で学んだことを基礎に、デザイン・看護の各専門に関する英語図書購読を通じ専門英語に慣れるとともに、専門分野に関する語彙を習得することを目指す。また、1年時に習得したパラグラフ・ライティング/エッセイ・ライティングの書き方を基礎に、さらにそれを発展させて専門分野に関連したエッセイ・ライティングの練習も行う。 【到達目標】 英文で書かれた専門分野に関する論文を読んだり、また、英文で論文を書くことができるレベルの語学力の習得を目指す。
実践英語B ★マammadヴァ セヴァンジ ★山田 パトリシア	演習 30時間	2年次 前期	【科目のねらい】 英語Ⅰ、英語Ⅱ（各A、B、C）で学んだことを基礎に、将来学術分野や実社会において、専門分野に関することから英語で聞き取り、議論できるように、さらに英語力を発展させる。授業ではそれぞれの専門分野に関する内容を口頭で発信する練習を行いながら、専門用語も習得する。授業はそれぞれの学部に分かれて行われる。 【到達目標】 専門に関する事柄を英語でプレゼンテーションすることができ、また会議等において英語でディスカッション等ができるレベルの語学力の習得を目指す。
中国語 ★照井 はるみ	演習 30時間	2年次 前期	【科目のねらい】 中国語入門の基礎として、文字・発音・文法を学習し基本的日常会話を習得するとともに、中国の歴史・文化等についても触れ、中国に対する理解を深める。 【到達目標】 教科書全10課の学習を終えることによって、中国語で自己紹介文を書き発表することを目指す。
ロシア語 ★ジダーノフ ウラジーミル ★ジダーノフ ナターリア	演習 30時間	2年次 前期	【科目のねらい】 ロシア語での読み書き、ロシアでの生活においてもっとも良く使う会話を習得する。また、現代のロシアの音楽や映画についても触れ、ロシアに対する理解を深める。 【到達目標】 簡単な文章、例えば会話帳などを読むことが出来る。ロシア語でのメールや絵葉書が書けるようになる。ロシア語での簡単な会話（天気、家族、食事など）が出来る。
グループ・ダイナミクス ★鹿内 啓子	演習 30時間	2年次 前期	【科目のねらい】 人は家族、学校、職場等さまざまなグループの中で、お互いに影響を与え合い、行動を変化させながら生活しており、そこにおいてはグループ・ダイナミクス（集団力学）が作用している。この授業では、人がどのように他者から影響されるのかを身の回りの事例から学び、集団における人間の心理や行動についての基礎的な理解を深める。またこのような影響力の要因から集団が持つ機能や意思決定の仕組みなどについて学んでいく。 【到達目標】 知らず知らずのうちに私たちに影響を与えている基本的な要因を学ぶことによって、自分や他者の行動を客観的に見直し、不当な影響力に冷静に対処する能力や態度を身につけることを目標とする。

授業科目・ 担当教員	授業形態・ 時数	年次	科目のねらい・到達目標
環境を考える 矢部 和夫	講義 30時間	2年次 後期	【科目のねらい】 地球環境問題の根源となっているのは、都市領域が人間の生存環境を作る自然領域を蚕食していったことである。また、地球は地域の集合体であると考えられ、その保全はそれぞれの地域で環境を保全することで達成される。このような視点から、地域環境保全の意義や地球環境の諸問題を取り上げ、その対策について、人間の暮らし、文化との関連で考える。 【到達目標】 環境問題の原因と発生のメカニズムを把握し、問題を正確に捉える。
教育を考える ★竹中 健	講義 30時間	2年次 後期	【科目のねらい】 家庭教育、学校教育、生涯教育などの教育は、人間や人間形成にとってなぜ必要なものとして位置づけられてきたのか？人びとがこれまで「教育」に求めてきた意味づけについて、歴史的変遷から考察をおこなう。また教育問題や教育が抱える課題といった日本の教育の現状について知る。 【到達目標】 近代における「教育」は、社会のなかでどのような概念として位置づけられてきたのかを理解し、社会にとっての「教育」の意味を自分なりに考えることができるようになることを到達点とする。
韓国語 ★松田 由紀	演習 30時間	2年次 後期	【科目のねらい】 韓国語を学ぶ上での基礎として、文字・発音・文法・会話等を習得するとともに、韓国の歴史、文化等についても触れ、韓国に対する理解を深める。 【到達目標】 ハングルが読めること、簡単な会話を暗記すること（教科書のカタカナ会話1～10を暗記）。

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師

概要

教育活動

研究活動

社会活動

入学  
者選  
抜結  
果

附  
属  
図  
書  
館

役  
員  
会  
、  
教  
育  
研  
究  
審  
議  
会  
、  
経  
営  
審  
議  
会

学  
内  
運  
営  
の  
概  
要

資  
料